

2021年8月24日

建築研究開発コンソーシアム
正会員・準会員連絡担当者 各位

建築研究開発コンソーシアム（CBRD）
インキュベーション委員会
研究企画ミーティング小委員会

2021年度研究企画ミーティング - 建築物に関わる音の問題と課題について（第1回） - 開催のお知らせ

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、建築研究開発コンソーシアムの運営並びに事業に関し、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「2021年度研究企画ミーティング-建築物に関わる音の問題と課題について（第1回）」を下記の通り開催いたします。会員各社連絡担当者の皆様から、当該分野に関心をお持ちの関係者へ、ご案内のほど宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

【開催趣旨】 会員企業や社会からのニーズの大きい研究テーマを発掘するため、建築研究所等の研究機関を中心に、会員企業等との意見交換の場を設ける。研究会、共同研究開発等への展開を推進する。

【日時】 2021年10月22日（金） 13:00-17:00

【開催方法】 Web会議（Zoomミーティング）

【参加資格】 正会員、準会員で、建築物に関わる音の問題と課題について関心のある実務者や研究開発担当者。

【定員】 80名

【参加費】 無料

【申込み】 2021年10月8日（金）までに、電子メールにてCBRD事務局・研究企画ミーティング担当宛（lecture@conso.jp）に、以下の内容を記載し申し込み下さい。

件名：研究企画ミーティング 建築物に関わる音の問題と課題について（第1回）

本文：社名、部署名、氏名、TEL、E-Mailをお書き下さい。

「資料1」の事前アンケートにご記入の上、ファイルを添付してください。

なお、検討の場の活性化のために、第2回以降の話題提供へのご協力をお願いいたします。

※申込みいただいた方には、10月15日（金）までに、参加の可否・ZoomのURLをメールにてご連絡いたします。

万一、届かなかった場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【問合せ先】 研究企画ミーティングに関するご質問等は下記にお願い申し上げます。

建築研究開発コンソーシアム事務局（略称：CONSO事務局） 担当：星野、石川

〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12 晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ棟4階

TEL：03-6219-7127・FAX：03-5560-8022、 E-mail：lecture@conso.jp

【研究企画ミーティングの内容（予定）】

内 容	時 間
ミーティング参加者自己紹介	13:00 ～13:10
<p>【本日の概要説明と建研で実施している研究課題の紹介】</p> <p>建築物に関わる音の問題と課題についてというテーマに沿って、子供と音、吸音、聴感と視覚情報といった研究についての話題提供者の紹介、話題提供の概要を説明する。</p> <p>また、建築研究所で現在実施している音環境に関する研究課題を情報提供する。</p> <p>平川侑〔国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ 研究員〕</p>	13:10 ～13:20
<p>【話題提供1：子供と音環境等について】</p> <p>子どもと音環境について、保育施設の音環境を中心に紹介する。子どもにとって保育施設は、午睡もあるため、静謐な環境が望ましい。高架下保育施設を対象に、音環境に関する現状や対策に関する研究事例を紹介する。また、2015年「子ども・子育て支援」の施行に伴い、小規模認可保育所が待機児童問題解決の切り札として期待されている。ビルの一室などで保育所が開設された場合の床衝撃音対策について研究事例を紹介する。(60分、質疑応答込み)</p> <p>富田隆太氏〔日本大学理工学部 建築学科 教授〕</p>	13:20 ～14:20
<p>休息</p>	14:20 ～14:30
<p>【話題提供2：音環境に関する基準類と空間の吸音について】</p> <p>建築基準法における音環境に関する法規制については、長屋又は共同住宅の界壁の遮音性能のみであるが、建築物の音環境に関する問題やトラブルが多くなっている。そこで法規制に加えて、その他の基準類や木造建築物の目標値などについても紹介する。</p> <p>また、日本では吸音性能についての基準は殆どないのが現状ではあるが、空間の吸音の重要性についても解説を行う。(60分、質疑応答込み)</p> <p>平光厚雄氏〔国土交通省 国土技術政策総合研究所 設備基準研究室 室長〕</p>	14:30 ～15:30
<p>休息</p>	15:30 ～15:40
<p>【話題提供3：視覚情報と音の評価等について】</p> <p>これまで Virtual Reality に関連する種々の新技術が提案されており、社会動向に対して影響を与えている。VR 技術を利用することにより、様々な環境条件を、その場に出向くことなく体験でき、さらには、複数の環境を瞬時に切り替えながら、環境刺激が人に与える影響を比較して検討することも可能となる。本話題提供では、VR 空間において呈示される音の主観的印象に対して映像の呈示が与える影響に関して、種々の研究事例を交えて紹介する。(60分、質疑応答込み)</p> <p>朝倉巧氏〔東京理科大学 理工学部 機械工学科 講師〕</p>	15:40 ～16:40
<p>休息</p>	16:40 ～16:45
<p>質疑応答・研究会立ち上げに対する総合意見交換</p> <p>今後の進め方（第2回予定。研究会立ち上げに向けたスケジュール、アンケート記入等）</p>	16:45 ～17:00

以上